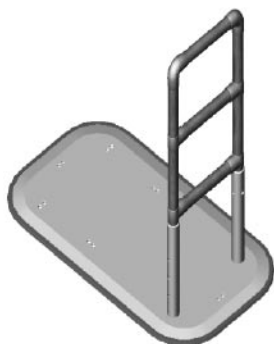


たちあっぷ® FB

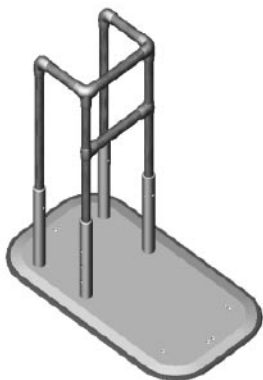
品番:CKA-05FB・CKA-06FB
CKA-07FB

たちあっぷFB 部品



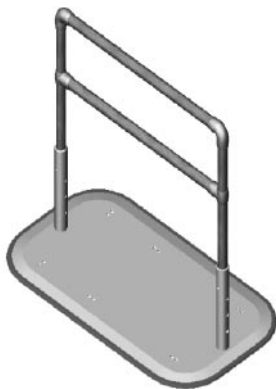
CKA-05 FB

名 称	数 量	サ イ ズ
手すりフレーム	1台	679×338mm
ベース	1台	517×917mm
スタンド	2本	φ42.7×250mm
超低頭ねじ	4本	M10×12mm
六角穴付き止めねじ	2本	M10×35mm
六角穴付き止めねじ	4本	M8×6mm
六角レンチ	各1本	対辺4mm・5mm
穴キャップ	12個	φ13.5×10mm



CKA-06FB

名 称	数 量	サ イ ズ
手すりフレーム	1台	679×352×265mm
ベース	1台	517×917mm
スタンド	4本	φ42.7×250mm
超低頭ねじ	8本	M10×12mm
六角穴付き止めねじ	4本	M10×35mm
六角穴付き止めねじ	8本	M8×6mm
六角レンチ	各1本	対辺4mm・5mm
穴キャップ	8個	φ13.5×10mm



CKA-07FB

名 称	数 量	サ イ ズ
手すりフレーム	1台	679×778mm
ベース	1台	517×917mm
スタンド	2本	φ42.7×250mm
超低頭ねじ	4本	M10×12mm
六角穴付き止めねじ	2本	M10×35mm
六角穴付き止めねじ	4本	M8×6mm
六角レンチ	各1本	対辺4mm・5mm
穴キャップ	12個	φ13.5×10mm

※ベッドサイドでご使用の際にはたちあっぷ®をより安定させるためのオプション品『ベッドでとまるくん』もごさいます。オプション品の詳細は弊社営業担当者にお問い合わせください。

ご購入ありがとうございます



販売店様：この説明書は必ずお客さまに説明してからお渡しください。
組み立ての前には、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守って
組み立ててください。

使用者様：使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。





！ 安全に関する表示

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

● 安全に関する表示

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への障害につながる可能性がある」内容を注意しています。

● 安全に関する図表示

		記号は、してはいけない「禁止」の内容です。 (左図の場合は接触禁止)
		記号は、必ずしていただく「強制」の内容です。 (左図の場合は必ず守る)

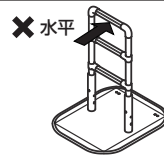
1. 使用上のご注意

警告

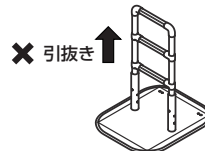
● 踏み台、椅子、はしごなどの用途では使用しない。

● 水平方向に力を加えない。

手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり床面との隙間が発生するような使用はしないでください。
手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。



● 手すり引抜き方向に力をかけない。



● 子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。

事故のおそれがあります。

● 濡れた手、足、靴底で使用しない。

滑って転倒するおそれがあります。

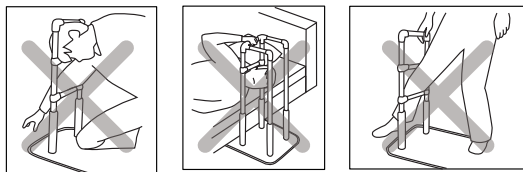
● ベースや手すりフレームが濡れた状態で使用しない。

転倒の原因になるおそれがあります。乾いた布で拭き取ってからご使用ください。



● 手すりフレームに頭や手足を入れない。

窒息や骨折のおそれがあります。



● 予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。

ご使用される方の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。特にベッドの上で予測できない行動をとられる利用者（認知症など）の方や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）の方につきましては、ご使用を控えていただくか、はさまれ防止の防護具である当社製のオプション品「たちあがぶフレームベルト」のご使用をお願いします。

※重度者（特に介護度4・5）の方が利用する場合は、十分モニタリング、フィッティングを行った上で使用してください。

またご使用に適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ、医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください。

● 車いすからの立ち上がり補助に使用しない。

移乗の際に転倒するおそれがあります。

● 弊社製品と他社製品との組み合わせによる製作物を作らない。

破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。



● 使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。




お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。

● 立ち上がり補助以外の用途では使用しない。



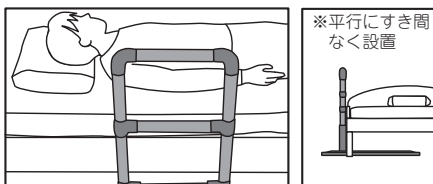
● 固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況をご確認の上使用する。

⚠ 注意

 <p>確認</p>	<p>●ご使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。 ご使用になる方の健康状態や体調が変化した場合には、医師や介護士などの専門員に相談してください。 ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。</p>
	<p>●介護者などの付き添いが必要な方が使用する場合は十分注意する。</p>
	<p>●布団からの起き上がりで使用する場合は、ベースを敷布団の下に差し込み、布団と平行に設置する。</p>
	<p>●ベッドサイドでご使用の際には、たちあぶの安定性を確認して使用する。 たちあぶをより安定させるオプション部品『ベットでとまるくん』のご使用をお勧めします。</p>
	<p>●ベッドフレームの下に 18mm 以上の隙間があるか確認する。 ベッドフレームの下に 18mm 以上の隙間がない場合、ベースをベッドの下に差し込むことができません。</p>
 <p>必ず守る</p>	<p>●ベース縁部のゴムには厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意する。</p>
	<p>●ベース面は塗装されており、靴下などで歩くと滑る場合があるので注意する。 ベースでの滑りや、冷たさを解消するためのオプション部品『たちあぶマット』の使用をお勧めします。</p>
	<p>●移動させる場合はベース部分を持って移動させる。 手すりを持ちますとねじのゆるみなどでベースが落下しケガをするおそれがあります。 また、引きずりますと床面を傷つけるおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>●結露した場合は、乾いた布などで拭き取る。 室内環境によって「たちあぶ」の金属部分に結露が発生するおそれがあります。 結露した状態で放置すると布団や畳にカビを発生させる原因となります。常に拭き取ってからご使用ください。</p>
	<p>●2人以上同時に使用しない。 たちあぶは1人用です。</p>

2.ご使用方法

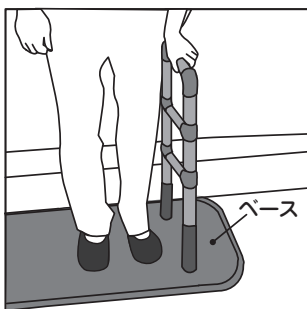
- ベッドサイドに置く場合は、使用者の肩口付近でベッドフレームに当てて、ベッドと平行にすき間なく設置してください。



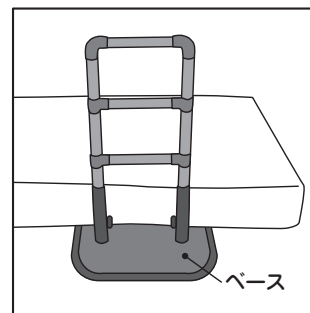
- 椅子からの立ち上がりには使用する場合は、手すりが身体のすぐ近くにくるように設置してください。



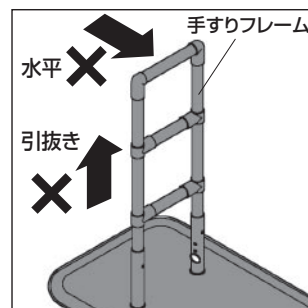
- 玄関で靴の着脱に使用する場合はベースの上で立ったまま使用してください。



- 布団からの起き上がりで使用する場合は、ベースを敷き布団の下面に差し込むように設置してください。手すりは布団と平行に設置してください。



- 手すりを持ち、床面に向かって押さえつける方向に力をかけて使用してください。水平方向、引抜き方向には力を加えないでください。



- ベースが持ち上がり、床面との隙間が発生する使用はしないでください。

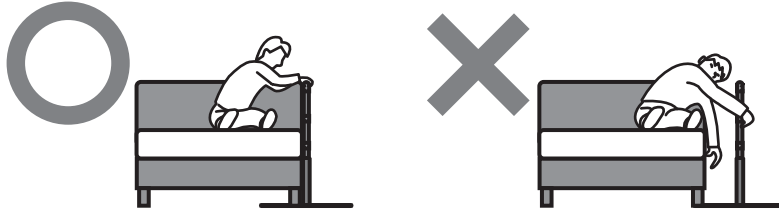
3.設置上のご注意

警告

- 設置後、ガタツキ、ねじのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認する。

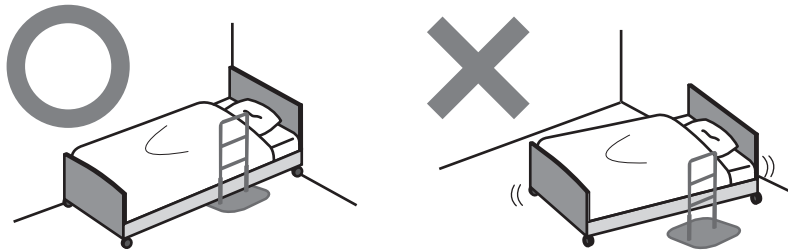
- ベッドサイドに置く場合は、たちあっぷとベッドの間にすき間がないように設置する。

身体をすき間にはさむなどしてケガをするおそれがあります。ベッドの構造により、すき間が生じる場合は、クッション材や毛布で埋めるなどして、すき間を無くすようにしてください。



- キャスター付きのベッドでご使用の場合は、必ずキャスターを固定する。

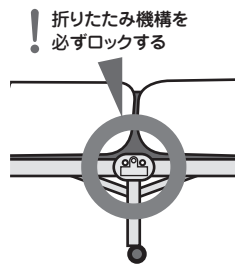
キャスターにロック機構がある場合は必ず使用してください。ロック機構が無い場合は、キャスターホルダーを使用するなど、必ずベッドが動かないように固定してください。(ベッドは壁に接するように設置すると安定します) ベッドが固定できないと、使用中にベッドが動いて手すりとベッドの間にすき間が発生するので大変危険です。



必ず守る

- 折りたたみベッドで使用する場合は、ベッドの折りたたみ機構を必ずロックして使用する。

ロック機構の無い折りたたみベッドでは使用しないでください。



- 電動ベッドでお使いの場合は、電動ベッドの取扱説明書を確認する。

特殊寝台など、たちあっぷが使用できない場合があります。

- 電動ベッドでたちあっぷを使用する場合は、頭や手足が入った状態でベッドを操作すると、挟まれて身体の障害や生命にかかわる事故を発生させるおそれがあるので注意する。

電動ベッドで使用する場合は、ベッドとの間にすき間を作らず、オプション品「たちあっぷフレームベルト」を取り付けてください。「たちあっぷフレームベルト」を取り付けない場合は、利用者様の身体が挟まらない安全な間隔で設置してお使いください。また電動ベッドの手元スイッチは、無意識に触れて誤操作しないように、置く場所に十分注意してください。



禁止

- お使いの電動ベッドに装着しているサイドレール、介助バーと組み合わせて使用しない。

組み合わせて使用すると、首や手足を挟むすき間が発生する場合があります、事故の原因となります。






改造禁止

- 改造・加工は絶対に行わない。

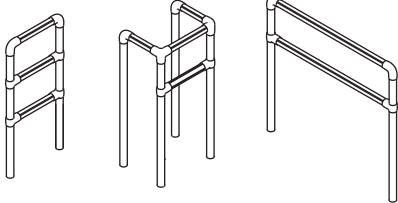
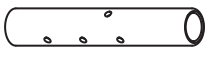

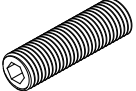
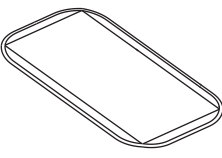



事故の原因になるおそれがあります。

3. 設置上のご注意

⚠ 注意

 必ず守る	●組み立て、高さ調整は納入業者の方に行っていただくこと。
	●一般家庭の室内で使用する。
	●平らで水平な場所で使用する。
	●製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管しますと、変形、結合部の外れの原因になります。
	●CKA-06FBの手すりフレームは、ベースから外した状態では強度がないので、衝撃、荷重による破損に十分注意する。 輸送・保管する場合は、納入時の梱包用ダンボールを使用して、管理することを推奨します。
	●昇降機構のある電動ベッドには、「ベットでとまるくん」を装着しない。 「ベットでとまるくん」を装着したまま、ベッドを昇降しますと破損や機能を損なう原因になります。
 点検	●定期的にガタツキ、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認する。
 禁止	●屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になるおそれがあります。 また変質や破損をするおそれがあります。
	●火のそばでは使用しない。 軟化または、変形や破損をするおそれがあります。
	●水やお湯に濡れる場所では使用しない。 変質や破損をするおそれがあります。

4. たちあっぷFB 材質

 手すりフレーム ジョイント：プラスチック パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ	 スタンド スチール	 超低頭ねじ スチール	 六角穴付き止めねじ ステンレス (M10×35mm)
 ベース スチール フチ部：ゴム	 六角穴付き止めねじ ステンレス (M8×6mm)	 穴キャップ ナイロン樹脂	 六角レンチ スチール

5.組立手順

※組み立て、高さ調整は納入業者の方に行っていただくようお願いいたします。

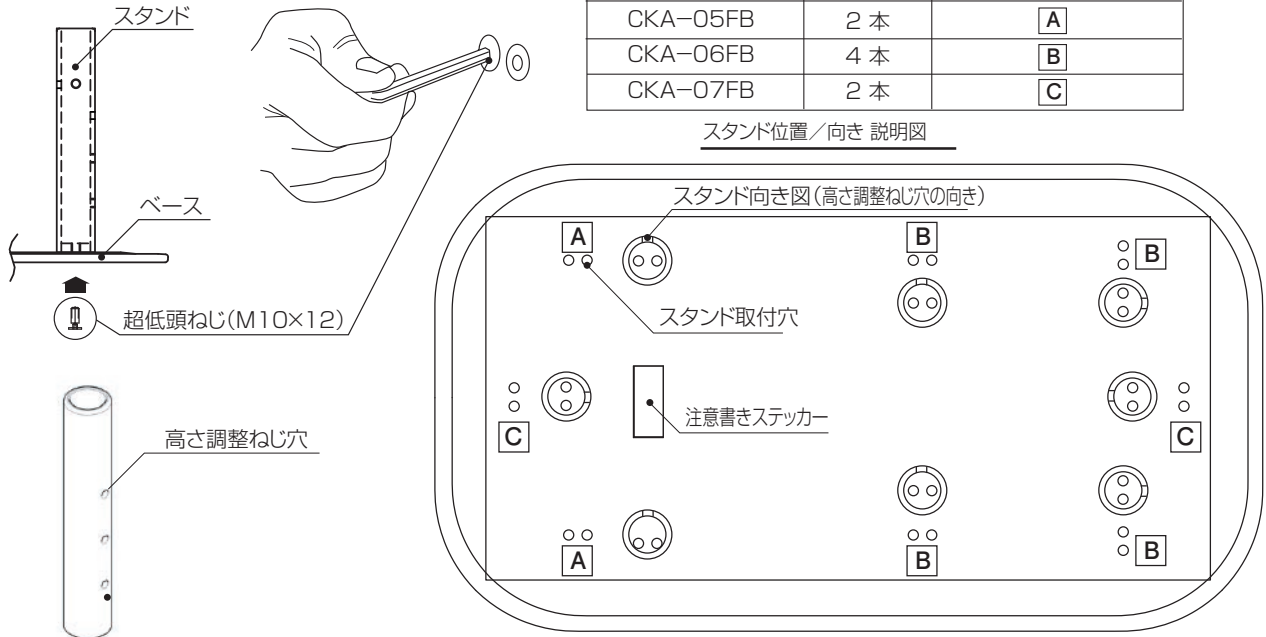
①ベースとスタンドの取り付け

スタンド取付位置を確認し、ベース裏側より、超低頭ねじ(M10×12) 2本でスタンドを取り付けてください。
六角レンチで仮止めの状態にしておきます。※取付位置は、下の表1、およびスタンド位置/向き 説明図をご参照ください。

表1

たちあがびFB 品番	スタンド数量	スタンド取付穴位置記号
CKA-05FB	2本	A
CKA-06FB	4本	B
CKA-07FB	2本	C

スタンド位置/向き 説明図



⚠ 注意

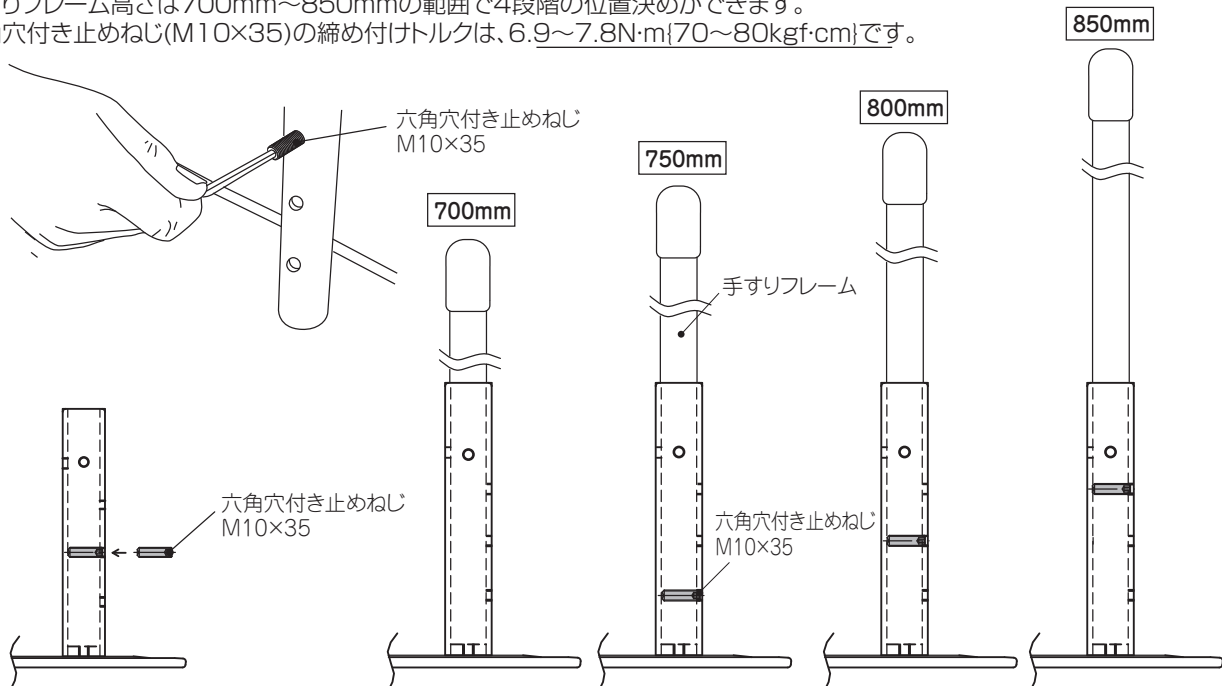


必ず守る

●上記に示すスタンド取り付け以外には、スタンドを取り付けない。

②手すりフレーム高さ調整ねじの取り付け

手すりフレームの高さを決め、高さ調整ねじ穴に六角穴付き止めねじ(M10×35)を六角レンチで締め付けてください。
奥まで締め付け、スタンド面からねじ頭が出ていないことを確認してください。
手すりフレーム高さは700mm~850mmの範囲で4段階の位置決めができます。
六角穴付き止めねじ(M10×35)の締め付けトルクは、6.9~7.8N・m{70~80kgf・cm}です。



⚠ 注意



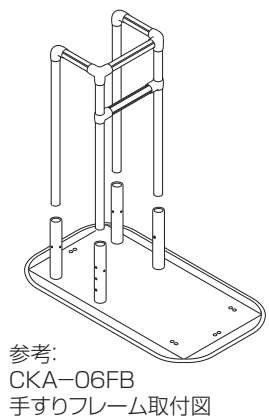
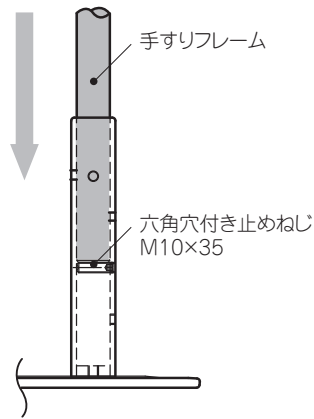
必ず守る

●六角穴付き止めねじ(M10×35)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。
ケガの原因になるおそれがあります。

③手すりフレームの取り付け

手すりフレームを、スタンドに差し込んで、確実に六角穴付き止めねじに当ててください。

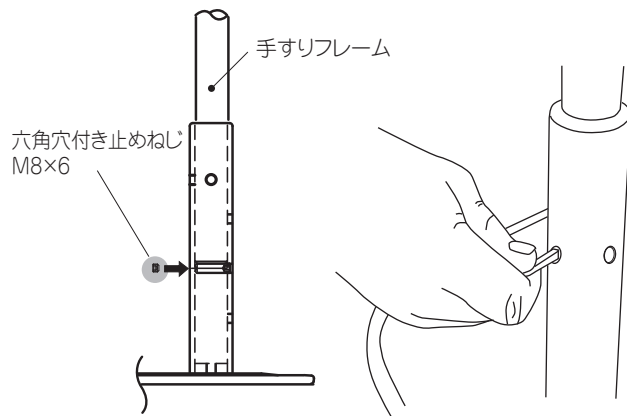
⚠ 注意	
! 必ず守る	●手すりフレームの高さは左右同じになるように設定する。
	●手すりフレームは六角穴付き止めねじ(M10×35)又はスタンド底面に当たるまで差し込む。 差し込みが不十分ですと、ガタツキの原因になります。



④手すりフレームの固定

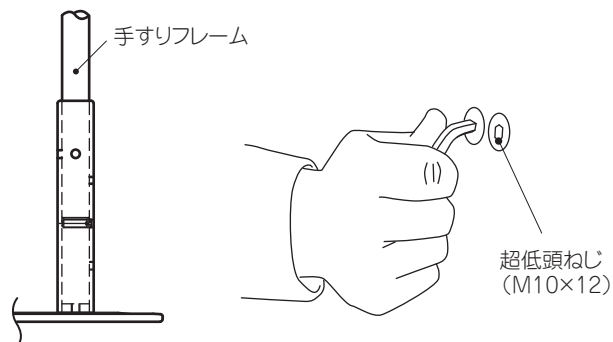
手すりフレームを差し込み、六角穴付き止めねじ(M8×6)2箇所を六角レンチにて締め付け、手すりフレームを固定してください。スタンド面からねじ頭が出ていないことを確認してください。六角穴付き止めねじ(M8×6)の締め付けトルクは、3.9~4.9N・m{40~50kgf・cm}です。

⚠ 注意	
! 必ず守る	●六角穴付き止めねじ(M8×6)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になるおそれがあります。



⑤スタンド取付ねじの締め付け

①で行なった仮止めの状態の超低頭ねじ(M10×12)も六角レンチにて確実に締め付けてください。超低頭ねじ(M10×12)の締め付けトルクは、9.8~11.76N・m{100~120kgf・cm}です。

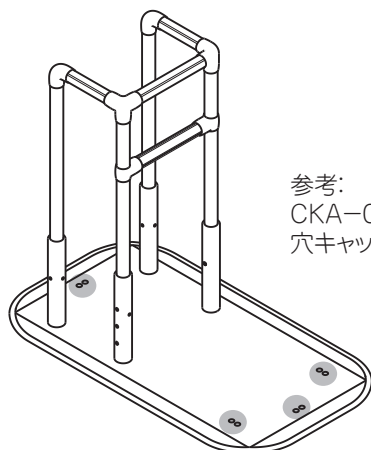


⑥スタンド・手すりフレーム共にガタツキがないか確認

⚠ 注意	
! 必ず守る	●組み立て後、スタンドや手すりフレームにガタツキ、ねじのゆるみのないことを必ず確認する。 事故の原因になるおそれがあります。

⑦穴キャップの取り付け

ベース上の使用しないスタンド取り付け穴に「穴キャップ」を取り付けてください。






⚠ 注意	
! 必ず守る	●穴キャップは必ず取り付ける。 ケガの原因になるおそれがあります。

6.お手入れ方法



[6-1] 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布をかたくしぼって拭いてください。

 注意	
 禁止	●シンナー、ベンジン等は使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	●たわしや磨き粉等で磨かない。 傷つくおそれがあります。
 必ず守る	●直射日光は避けて、陰干しにする。



[6-2] 点検

- 定期的に点検を行い、ガタツキ、ねじのゆるみ、締め忘れや破損・その他異常がないことを確認してください。

 注意	
 必ず守る	●定期的にガタツキ、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、施工店へご相談ください。

[6-3] 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。
この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

 注意	
 禁止	●オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

矢崎化工株式会社

■本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1
福祉介護機器部 TEL 054(281)8867 FAX 054(284)0863

介護支援ページ
kaigo-web

<http://www.kaigo-web.info/>

■北海道支店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美幌市東6条北8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■仙台支店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■関東支店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■東京支店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-38-3
TEL 04(2944)7111 FAX 04(2944)7007

■神奈川支店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■静岡支店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■名古屋支店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■大阪支店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■広島支店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■高松支店 福祉介護機器課
〒761-8058 香川県高松市勅使町227
TEL 087(866)6411 FAX 087(867)1916

■九州支店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026